

研究課題名	直接灸による栄養状態改善の検討
研究責任者名	広島大学病院 漢方診療センター 教授 小川恵子
研究期間	許可日 ~ 2028年 3月31日
対象者	<p>実施許可日~2025年9月の間に、広島大学病院で治療を受けている、以下の条件を満たす患者さん。</p> <p>(1) 適格基準 (全てを満たす) 65歳以上の患者。 灸治療が適するという、漢方専門医の診断を受けている</p> <p>(2) 除外基準 以下のいずれかに該当する。 最近2週間以内に新たな薬剤を摂取した。 熱刺激に対する過敏症の既往がある。</p>
意義・目的	<p>日本では、直接灸(直接灸とは、皮膚に艾(もぐさ)を立て、その艾を燃やすことで灸療法を行う施術方法)が伝統医学の一部として、患者の健康保持やADL向上、免疫機能改善に用いられてきました。しかし、科学的検証はほとんど成されていません。そこで本研究では、灸による治療が適応となる患者に治療を行い、治療前後の栄養状態、免疫機能と活動の変化を調べます。</p>
方法	<p>漢方専門医が必要と判断した患者に対し、事前に研修を受けた医師または鍼灸師が灸治療の方法を患者に伝えます。患者は、セルフケアで灸治療灸治療を足三里(図1)に行います。施術は1週間に5日間(計12週間)を行います。</p> <p>治療前と治療後4週間ごとに体重、内臓脂肪量、PS(performance status)を測定します。また、治療前と最終12週後に血清アルブミン、総コレステロール、リンパ球数、NK細胞機能、免疫機能を測定します。</p> <p>診療情報及び余剰検体を用いるため、患者さんへの新たな負担はありません。</p> <p>また、共同研究機関より、対象者を識別できないように個人情報加工された上記診療情報を収集し、広島大学にて解析を行います。なお、診療時の余剰検体(血液10ml)は、共同研究機関である愛知医科大学に送付し、測定を行います。</p>
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日(2022年2月21日)~
研究実施体制	<p>代表機関 広島大学病院 漢方診療センター 小川恵子 研究機関の長：田中純子</p> <p>共同研究機関 愛知医科大学内科学講座血液内科 高見昭良</p>



(図1)足の三里の位置(ST36) WHO・WPROが規定している標準経穴部位を参照する。

医療法人社団芙蓉会二ツ屋病院 西村勇人
医療法人社団八千代会メリィハウス西風新都 三武士淳
医療法人社団 曙会 シムラ病院 池尻佑美

試料・情報の管理責任者

広島大学病院 漢方診療センター 教授 小川恵子

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1921

広島大学病院 漢方診療センター 教授 小川恵子